

平成21年度 事業報告

1. 平成21年度の当財団の基本財産運用収入は、0.85%の運用益となりました。

2. 啓発事業

(1) 一般部門

①当財団のメイン事業である「とやま環境賞」の第14回表彰式を、平成22年3月13日（土）午前10時より富山テレビ本社ホールで開催し、下記の1個人・7団体を表彰しました。

「最優秀活動賞」

○山田 茂子

永きにわたり環境保全の普及・啓発活動を豊富な知識で学校・地域に幅広く指導・助言して来た事に対して

「ジュニア活動賞」

○射水市立東明小学校 児童会

地域住民と一体となって実施している清掃活動、海辺の漂着物調査に対して

○氷見市立窪小学校

地区ぐるみの環境保全・美化活動およびハマナスの保護育成活動に対して

○立山町立釜ヶ淵小学校

川の水質調査・生き物採取を通じての環境啓発活動に対して

○高岡市立太田小学校

地域の豊かな自然・文化を生かした体験学習活動に対して

○高岡市立五位中学校 生徒会

永年にわたる西高岡駅清掃等の清掃ボランティア活動に対して

○富山県立伏木高等学校

地域と連携した幅広い清掃奉仕活動、環境保全活動に対して

○そらまめエコクラブ

スポーツ少年団による環境保全活動に対して

この表彰式の様子は富山テレビ放送で放送されました。また、それぞれの活動の様子も受賞者紹介の企画ニュースとして、夕方の「BBTスーパーニュース」で一週間にわたり放送されました。

②当財団と国土交通省立山砂防工事事務所の主催による第13回「SABO体験楽校」を8月4日（火）～8月6日（木）の2泊3日で実施しました。県下の高校生3名が参加し、立山カルデラでの砂防工事の体験学習をしました。

③当財団と富山テレビ放送で「ふるさとスケッチ」を年間を通じて制作・放送し、

自然環境の保全を提唱しました。

3. 普及事業

(1) 普及広報活動

- ①国土交通省富山工事事務所他、県内各工事事務所と共催で「川の絵画コンクール」を開催し、11月20日（金）に富山河川国道事務所で表彰式をおこないました。今年度は県内全域の小学生から4,698点の応募があり、故郷の川への思いとエピソードが伝えられました。
- ②「親子で学ぶ！夏休み自然体験学習」をトヨタ白川郷自然学校の協力を得て8月22日（土）、23日（日）の2日間、19組38名の親子が「水と森のつながり」をテーマに自然体験学習をしました。
- ③「地球温暖化防止 とやま活動宣言」に協力し、富山テレビ放送と共同で地域環境活動の取組みや企業活動などを報道番組で紹介し、地球環境保全を呼びかけました。

(2) 催事・研究助成

- ①射水市絵本文化振興財団に環境教育に役立つ絵本の購入費を助成しました。
- ②日本黒部学会に賛助金を助成しました。
- ③11月22日（日）に富山県ひとづくり財団、富山テレビ放送との共同主催で「水みらいプロジェクト2009」をサンシップとやまで実施し、県内各地での小中学生の水に関する環境活動の研究成果を紹介しました。
今回は、杉本利英氏（国土交通省利賀ダム基調工事事務所副所長）が「河川環境とそこに生息する動植物」と題して基調講演を行いました。
このプロジェクトの様子は特別番組として富山テレビ放送で放送されました。